



オーストラリア直送レポート

Vol.11 2016.8.19 Thank you for everything!!

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林
(引率教諭) 吉備中学校：西岡
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地
(引率教諭) 白馬中学校：熊ノ郷

【DS】あっと言う間に、ドリップストーンミドルスクールでの研修も最後日を迎えました。今日の空は、オーストラリアに来てから一番の曇り空です。研修生達の心模様をあらわしているかの様です。今日は、授業が始まるまでに、DS校の庭で研修生達と集合写真を撮りました。研修生全員がそろうまでに、数人の研修生と話していましたが、「後一週間はオーストラリアにいたい」や「一瞬で今日になったわ」と少し寂しそうに話していました。

午前中の授業は、数学、サイエンス、ダンス、体育、美術でした。最終日でも、英語での授業はチンプンカンプンになっている時もありましたが、どこか名残惜しい感じで、楽しみながらいつも以上に元気に、そしてコミュニケーションはアクティブに授業を受けていました。途中のリセス(ランチとは別の20分休憩)では、DS校の売店で最後の買い物なので、研修生は思いっきり買い物をしていました。

昼食の時間には、フェアウェルパーティーの料理が次々と部屋に運び込まれてきました。DS校のホストファミリーも合流し、大盛り上がりでした。研修生の胃袋は既にオーストラリアサイズになっているらしく、お皿にいっぱい、口にいっぱいオーストラリアの味を堪能していました。また、部屋の周りには多くのDS校の生徒たちが集まってきて、研修生と写真を撮ったり、ハグしたりする姿が休憩時間が終わるまで続きました。この時に、研修生達の名前をDS校の生徒が一人一人呼んでいるのを聞いていると、ずっと前からの友達であった様な関係を、異国の地で研修生達が築けたんだと思うと胸が熱くなりました。

昼食後に、スクールマネージャー、エマ、アルバート先生(2人とも研修中にメインでお世話になったDS校教員)からセレモニーをして頂き、スクールマネージャーから研修生一人ずつに修了証を手渡していただきました。来校初日から最後のセレモニーまで、先生方や学校スタッフ、DS校の生徒の皆さんも本当に笑顔で親切に接してくれました。そんな環境が、どんなに研修生をを安心させてくれ、楽しむことができたかを考えると感謝しきれません。研修生もDS校で日々肌で感じたようで、日本で初めて会った時より明るく笑顔が増えたような気がします。研修生や私たちの行動から、日本人独特の良さが、出会ったオーストラリアの人々に伝わっていれば何よりです。最後に全員で記念写真を撮り、DS校での研修最終日も無事に学校生活を終えました。研修生たちには、ホストファミリーとの最後の週末を楽しんで、最後の思い出作りをして欲しいと思います。(林)

今日は最後の校内研修でした。まず登校してすぐに、ドリップストーン校の校舎の入り口前で集合写真を撮りました。誰も遅れることなくきちんと集合することができました。その後、いつもの集合部屋に移動し、今日の時間割を教えていただいたのですが、時間割の最後に Farewell party というワードが。なんと私たちのためにお別れのパーティーを用意してくださっていたのです。体育、美術、数学、ダンスの授業を受けて、昼休憩を迎えました。今日が最後であるとわかっている研修生たちは、ドリップストーン校の友達と写真を撮ったり、話をしたり、メッセージを書いてもらったり、最後の時間を過ごしました。もっとこの時間が続けばなあと思っているうちに、あっという間に昼休憩が終わってしまいました。研修生はこの出会いを大切に、今日別れを惜しんだ友達と帰国後も繋がってほしいと思います。その後はすぐに Farewell party があり、フルーツやケーキなどをいただき、ドリップストーン校の先生方から修了証と、研修生が美術の時間につくったアポリジニアートに額を添えていただきました。修了証を受け取った研修生は、最後にお世話になったドリップストーン校の先生方と写真を撮り、ホストの家に帰りました。

今日で校内研修も終わり、残るは明日、明後日でこの海外研修も終わりです。あっという間に時間が過ぎてしまいました。短い期間でしたが、研修生は間違いなく成長しています。しかしこれで終わらせてしまうと、これだけの成長で終わります。帰ってからでも事後研修があるのですが、研修の有無にかかわらず、この研修での経験を生かしてほしいと思います。日本のような小さい国が世界でも有数の GDP を誇っています。誰かが世界で頑張っているのです。そして誰かが地域で頑張り、有田川町民の皆様のおかげで研修生は研修に来れています。そのことを心の片隅で感じ、踏み台にし、飛躍してほしいと思います。帰国後の学校でも研修生の行動の変化がみられることを心より期待しています。(西岡)

【PS】今日は学校での研修最終日でした。場所は始まりの学校、パーマストーンシニアカレッジです。朝の全校集会で校長先生が挨拶してくださり、生徒達からも拍手をしていただきました。

集会の後は数学のような授業でした。まず、校庭に出てオリエンテーリングをしました。ローズベリーミドルスクールでもした、コンパスを見ながら移動する授業です。今回は、距離を測る道具も使いながら配られたプリントの指示通り移動しました。いくつかのグループに別れ、ポイントを巡りながら、時折笑い声も聞こえていました。最終的には、全部のグループが同じポイントに集まりました。教室に戻ってからは、定規やコンパスを使って幾何学模様を作る作業をしました。同じテーブルに座った友人たちと見せ合いながら作業をしていました。現地の生徒達と、消しゴムや色鉛筆を貸し借りする姿は、クラスメイトそのものといった感じでした。リセスでは、生徒達と写真を撮ったり、ライン ID やメールアドレスを交換したりと大賑わいでした。これからも、それぞれが交流を続けてくれたらとても素敵なことだと思います。

学校での最後の授業は、美術でした。DIGITAL MEDIA と書かれた教室に入り説明を受けると、写真を撮る授業だとわかりました。そこで、研修生達にモデルになってもらいたいということでした。一眼レフカメラで、屋内、屋外にわかれ撮影が進みました。始めは、慣

れないことに戸惑いながら生徒達の指示を聞いていましたが、授業の終盤はまんざらでもない感じに見えました。今日はお別れランチということで、現地の生徒達が作ってくれた料理をバイキング形式でいただきました。牛肉にカンガルーのお肉、サンドウィッチやミートパイなど、とてもおいしくてみんな何度も取りに行っていました。

食後には、校長先生から一人一人に学校での研修の修了証を渡していただきました。がちり握手する子や、一言挨拶する子など、みんな本当に成長したと思いました。まだ、週末ホストファミリーと過ごすというオーストラリアでの生活は残っていますが、オーストラリアで出会った物事すべてを、自分のプラスにしてこれからの成長にもつなげていてもらいたいです。(宮地)

ダーウィンには何回も来ていますが、一日中雲りの日を経験するのは初めてでした。そんな雲り空とは反対に、子供達はとても元気にパーマストーン校最終日を迎えました。私達の訪問は、パーマストーン校の生徒にも大きな影響を与えたようで、昼休み、一人のパーマストーン校の女の子が、「今からでも有田川町への研修旅行に参加出来ますか？」と先生に聞いていました。もちろんそれは難しいので、残念そうに職員室を出ていく彼女の姿が印象的でした。私達がここに来ることで、こちらの生徒達が少しでも日本に興味を持ってくれるといいなと思いました。

今日は何人もの子供達から「先生、ホストファミリーに手紙を書きたいから、英語でなんて書いたらいいか教えて」と言われました。その内容はすべてホストファミリーへの感謝の気持ちであられていました。私達引率スタッフは、ホストファミリーとの生活をすべて見ることはできません。けれど、子供達の手紙を読んでいると、彼らがとても大切にされてこの2週間を過ごしてきたかがわかりました。国も文化も言葉も超えて彼らが受け取った人の心のあたたかさを、今度は自分のまわりの人々に与えられるようになってもらいたいと思います。(熊ノ郷)

(写真を次ページに掲載しています)

